

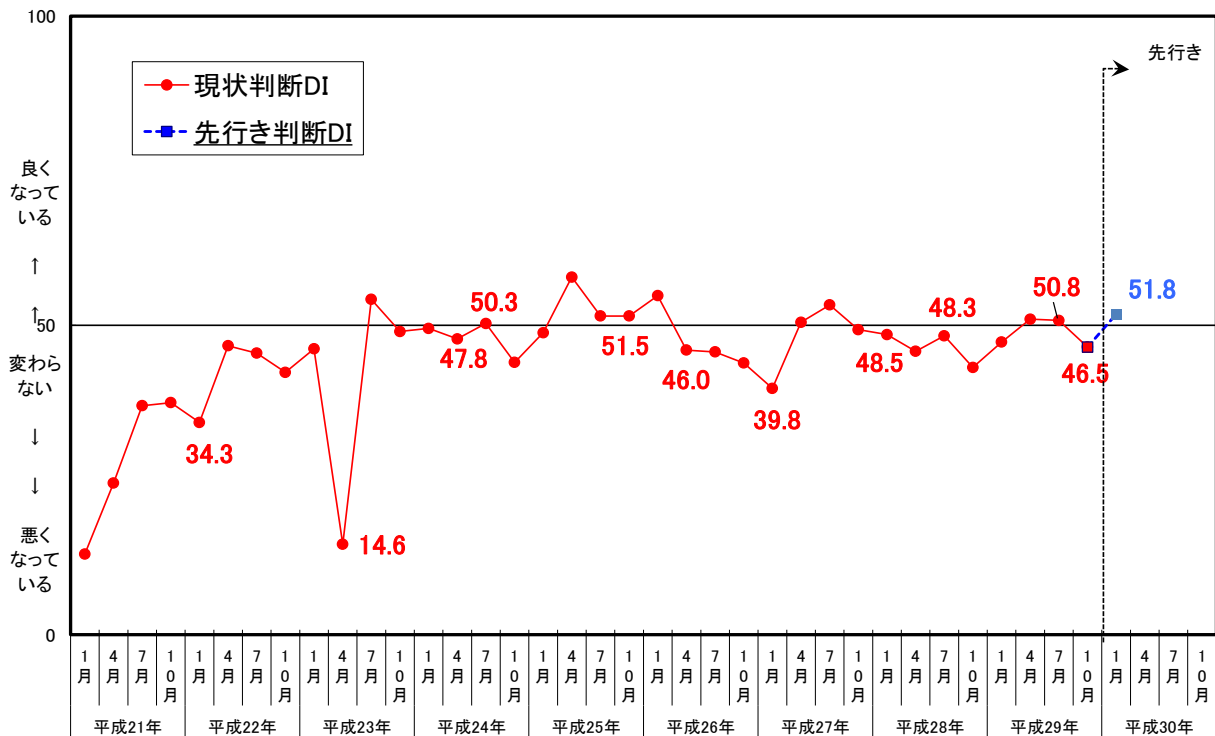
青森県景気ウォッチャー調査 (平成29年10月期)

調査期間 平成29年10月2日～10月20日 回答率100%

概況

10月期の景気現状判断DIは46.5と、3期ぶりで50を下回った。
先行き判断DIは、現状判断DIと比べて5.3ポイント増加の51.8となった。

景気現状判断DIの推移・今後の先行き判断DI



平成29年11月

青森県企画政策部統計分析課

青森県景気ウォッチャー調査について

1. 調査の目的

統計データには表れないきめ細かな生活実感のある情報を収集し、県内景気動向判断の基礎資料とする。

(1) 調査の範囲

県内を東青地区、津軽地区、県南地区、下北地区の4地区に分け、各地域における経済活動の動向を敏感に観察できる業種の中からおよそ30業種を選定し、そこに従事する100名を調査客体とする。

○地域別・分野別の客体数

地区	対象地域	調査客体数			
		合計	家計	企業	雇用
東青	青森市とその周辺部	30	23	4	3
津軽	弘前市、黒石市、五所川原市とその周辺部	30	22	6	2
県南	八戸市、十和田市、三沢市とその周辺部	30	21	7	2
下北	むつ市とその周辺部	10	9	1	0
		100	75	18	7

○分野別の業種・職種

家計関連	小売	コンビニ、百貨店、スーパー、乗用車販売、衣料専門店、家電量販店、一般小売店、商店街、卸売業
	飲食	一般飲食店、レストラン、スナック
	サービス	観光型ホテル・旅館、都市型ホテル、観光名所等、旅行代理店、タクシー、美容院、パチンコ、競輪場、ガソリンスタンド
	住宅	設計事務所、住宅建設販売
企業関連	食料品製造、飲料品製造、紙・パルプ製造、電気機械製造、建設、経営コンサルタント、広告・デザイン	
雇用関連	人材派遣、新聞社求人広告、求人情報誌	

(2) 調査事項

- ① 3カ月前と比べた景気の現状判断とその理由
 - ② 3カ月後の景気の先行き判断とその理由
- 参考1 景気の現状判断
参考2 その他自由意見

(3) 調査期日等

四半期に一度（1月、4月、7月、10月）実施し、翌月初旬に公表。

2. DIの算出方法

景気ウォッチャー調査におけるDI(ディフュージョン・インデックス)は、景気ウォッチャーによる景気の現状・先行き判断を示す指標で、以下の方法により算出している。

景気の現状または先行きに対する5段階の判断にそれぞれ以下の点数を与え、これらに各判断の構成比(%)を乗じ算出する。

評価	良くなっている	やや良くなっている	変わらない	やや悪くなっている	悪くなっている
点数	1	0.75	0.5	0.25	0

※ 回答者全員が(景気は)「変わらない」と回答した場合、DIは50となるため、50が景気の方角性をあらわす目安となる。

(本調査についてのお問い合わせ先)

〒030-8570 青森県企画政策部統計分析課 統計情報分析グループ
TEL 017-734-9166 (直通) FAX 017-734-8038

1. 結果概要

※設問によっては、無回答の場合もあり、設問毎の調査客体数は100とならない場合もある。

(1) 3カ月前と比べた景気の現状判断DI

① 県全体の動向

前期調査と比べると、「良くなっている」が3.0ポイント減少、「やや良くなっている」が1.8ポイント増加、「変わらない」が10.6ポイント減少、「やや悪くなっている」が10.8ポイント増加、「悪くなっている」が1.0ポイント増加したことにより、全体では4.3ポイント減少の46.5となり、景気の横ばいを示す50を3期ぶりで下回った。

判断理由では、アウガへの市役所窓口機能移転、有効求人倍率の上昇、電気機械の受注増、農作物の生育が良好であることなどのプラス面がある一方で、冷夏の影響、人口減少による客数減少や夏祭り等のイベント終了による影響などといったマイナス面をあげる声があった。

② 分野別の動向

前期調査と比べて、家計関連全体で6.6ポイント減少、企業関連で9.7ポイント増加、雇用関連で14.3ポイント減少した。特に家計関連の飲食で大きく減少した。

③ 地区別の動向

前期調査と比べて、県南地区ではポイントが上昇し、景気の横ばいを示す50を上回った。その他の3地区では減少し、50を下回った。

(2) 3カ月後の景気の先行き判断DI

① 県全体の動向

前期調査と比べると、「良くなる」が1.0ポイント減少、「やや良くなる」が6.8ポイント増加、「変わらない」が8.6ポイント減少、「やや悪くなる」が1.8ポイント増加、「悪くなる」が1.0ポイント増加したことにより、全体では0.3ポイント増加の51.8となり、景気の横ばいを示す50を3期連続で上回った。

判断理由では、最低賃金の上昇や消費税増税を見越した前倒し需要への期待等によるプラス面をあげる声があった一方で、送料や原油価格の上昇及び消費の分散化や節約志向などを懸念する声があった。

② 分野別の動向

前期調査と比べて、家計関連全体で1.7ポイント減少、企業関連で8.3ポイント増加、雇用関連で増減なしと、特に家計関連の住宅で大きく増加した。

③ 地区別の動向

前期調査と比べて、東青地区と下北地区でポイントが減少した。下北地区では景気の横ばいを示す50を下回り、その他の3地区では50を上回った。

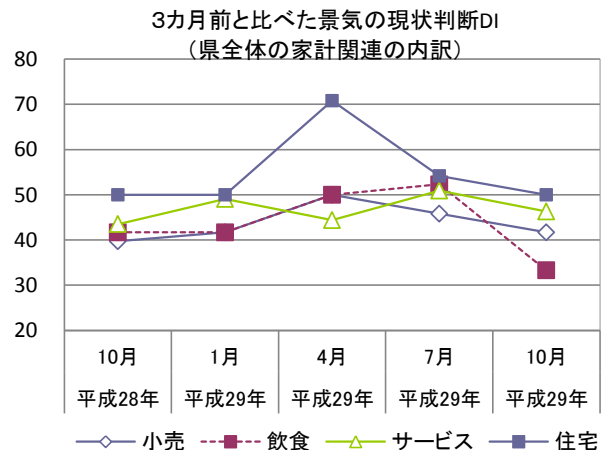
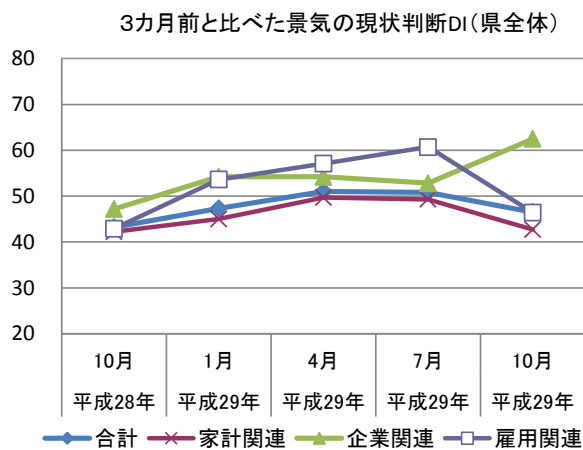
2. 県全体の動向

(1) 3カ月前と比べた景気の現状判断

① D I

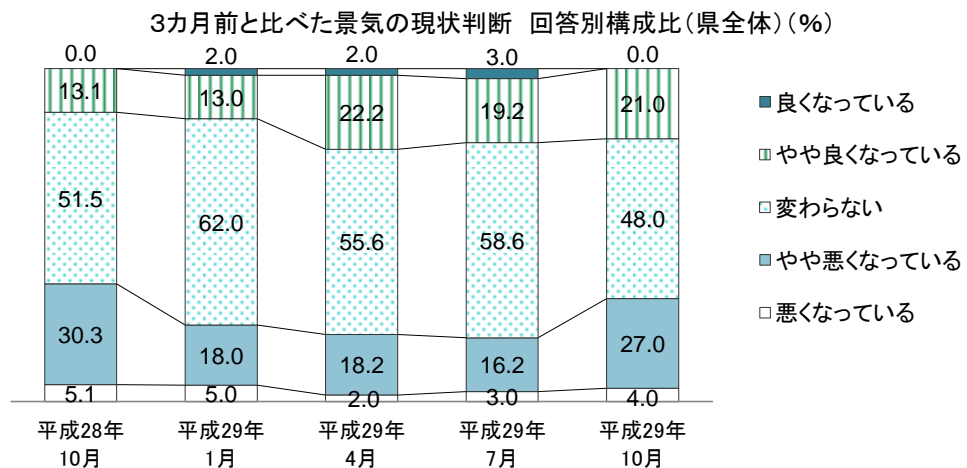
n = 100

	平成28年 10月	平成29年 1月	平成29年 4月	平成29年 7月	平成29年 10月	前期調査 との差
合 計	43.2	47.3	51.0	50.8	46.5	▲ 4.3
家計関連	42.2	45.0	49.7	49.3	42.7	▲ 6.6
小売	39.7	41.7	50.0	45.8	41.7	▲ 4.1
飲食	41.7	41.7	50.0	52.3	33.3	▲ 19.0
サービス	43.5	49.1	44.4	50.9	46.3	▲ 4.6
住宅	50.0	50.0	70.8	54.2	50.0	▲ 4.2
企業関連	47.2	54.2	54.2	52.8	62.5	9.7
雇用関連	42.9	53.6	57.1	60.7	46.4	▲ 14.3



② 回答別構成比 (%)

	平成28年 10月	平成29年 1月	平成29年 4月	平成29年 7月	平成29年 10月	前期調査 との差
良くなっている	0.0	2.0	2.0	3.0	0.0	▲ 3.0
やや良くなっている	13.1	13.0	22.2	19.2	21.0	1.8
変わらない	51.5	62.0	55.6	58.6	48.0	▲ 10.6
やや悪くなっている	30.3	18.0	18.2	16.2	27.0	10.8
悪くなっている	5.1	5.0	2.0	3.0	4.0	1.0

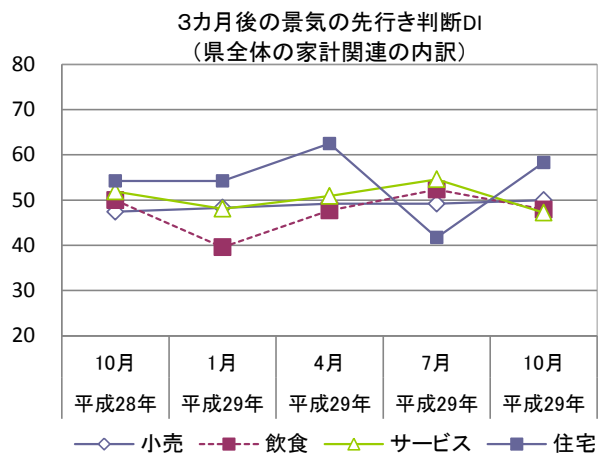
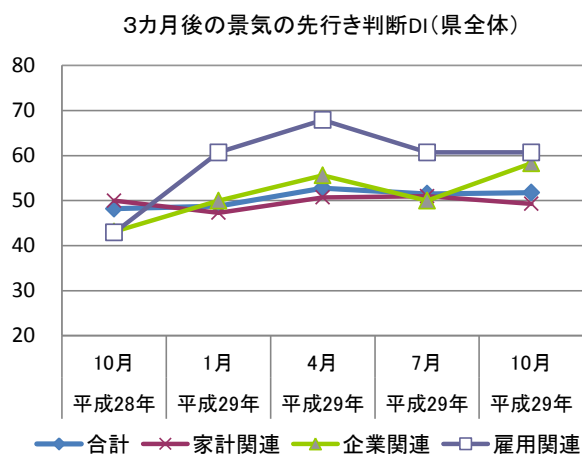


(2) 3カ月後の景気の先行き判断

①DI

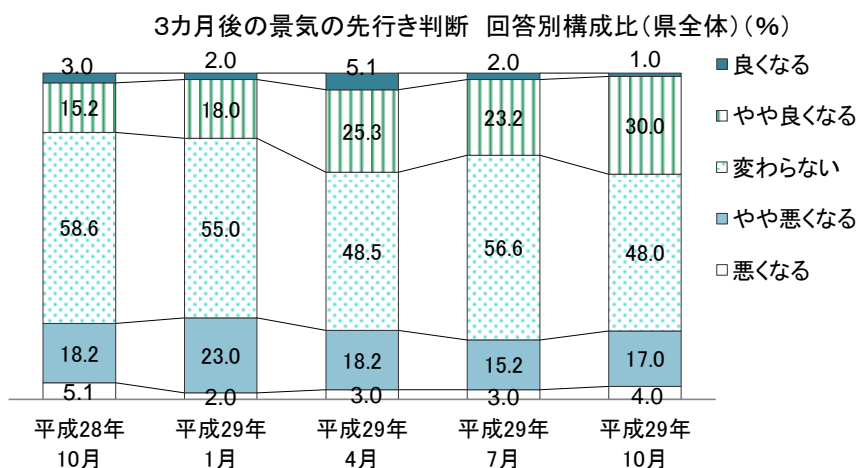
n = 100

	平成28年 10月	平成29年 1月	平成29年 4月	平成29年 7月	平成29年 10月	前期調査 との差
合 計	48.2	48.8	52.8	51.5	51.8	0.3
家計関連	50.0	47.3	50.7	51.0	49.3	▲ 1.7
小売	47.4	48.3	49.2	49.2	50.0	0.8
飲食	50.0	39.6	47.7	52.3	47.9	▲ 4.4
サービス	51.9	48.1	50.9	54.6	47.2	▲ 7.4
住宅	54.2	54.2	62.5	41.7	58.3	16.6
企業関連	43.1	50.0	55.6	50.0	58.3	8.3
雇用関連	42.9	60.7	67.9	60.7	60.7	0.0



②回答別構成比 (%)

	平成28年 10月	平成29年 1月	平成29年 4月	平成29年 7月	平成29年 10月	前期調査 との差
良くなる	3.0	2.0	5.1	2.0	1.0	▲ 1.0
やや良くなる	15.2	18.0	25.3	23.2	30.0	6.8
変わらない	58.6	55.0	48.5	56.6	48.0	▲ 8.6
やや悪くなる	18.2	23.0	18.2	15.2	17.0	1.8
悪くなる	5.1	2.0	3.0	3.0	4.0	1.0



3. 地区別の動向

(1) 3カ月前と比べた景気の現状判断

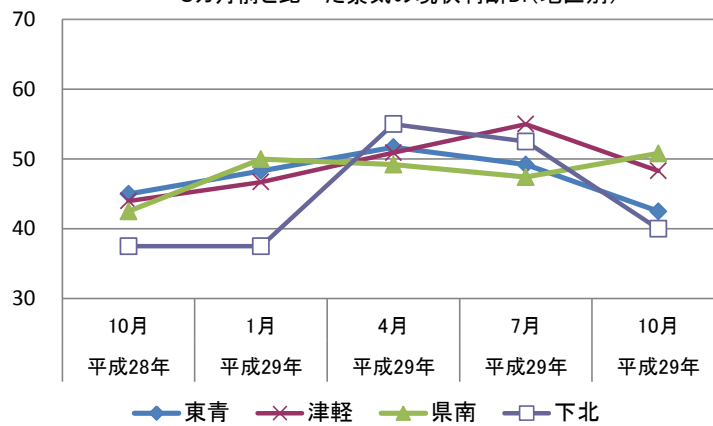
<地区別>

①DI

n = 100

	平成28年 10月	平成29年 1月	平成29年 4月	平成29年 7月	平成29年 10月	前期調査 との差
合 計	43.2	47.3	51.0	50.8	46.5	▲ 4.3
東青	45.0	48.3	51.7	49.2	42.5	▲ 6.7
津軽	44.0	46.7	50.9	55.0	48.3	▲ 6.7
県南	42.5	50.0	49.2	47.4	50.8	3.4
下北	37.5	37.5	55.0	52.5	40.0	▲ 12.5

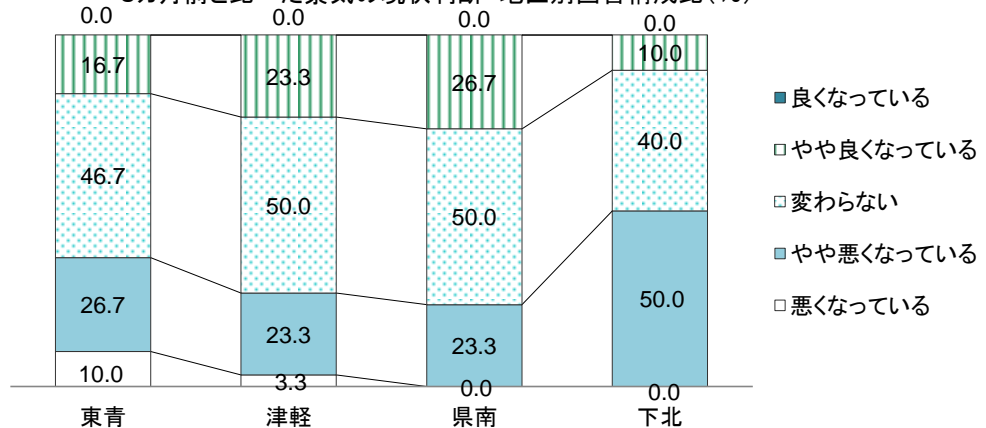
3カ月前と比べた景気の現状判断DI(地区別)



②地区別回答構成比 (%)

	東青	津軽	県南	下北
良くなっている	0.0	0.0	0.0	0.0
やや良くなっている	16.7	23.3	26.7	10.0
変わらない	46.7	50.0	50.0	40.0
やや悪くなっている	26.7	23.3	23.3	50.0
悪くなっている	10.0	3.3	0.0	0.0

3カ月前と比べた景気の現状判断 地区別回答構成比(%)



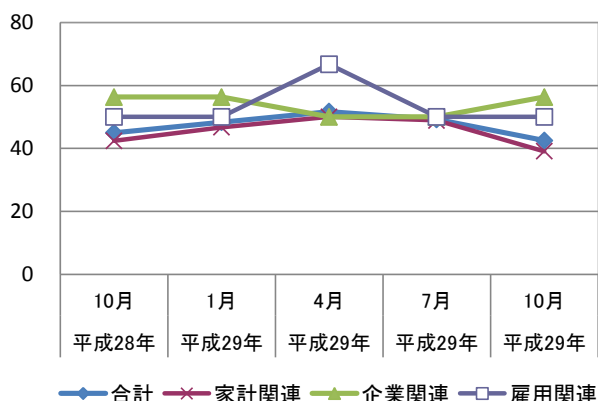
<東青地区>

①DI

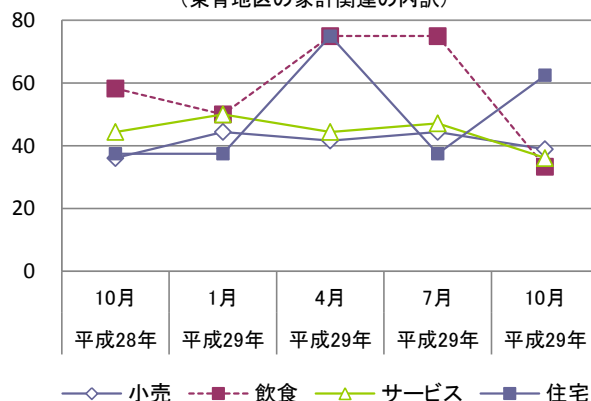
n= 30

	平成28年 10月	平成29年 1月	平成29年 4月	平成29年 7月	平成29年 10月	前期調査 との差
合 計	45.0	48.3	51.7	49.2	42.5	▲ 6.7
家計関連	42.4	46.7	50.0	48.9	39.1	▲ 9.8
小売	36.1	44.4	41.7	44.4	38.9	▲ 5.5
飲食	58.3	50.0	75.0	75.0	33.3	▲ 41.7
サービス	44.4	50.0	44.4	47.2	36.1	▲ 11.1
住宅	37.5	37.5	75.0	37.5	62.5	25.0
企業関連	56.3	56.3	50.0	50.0	56.3	6.3
雇用関連	50.0	50.0	66.7	50.0	50.0	0.0

3カ月前と比べた景気の現状判断DI(東青地区)



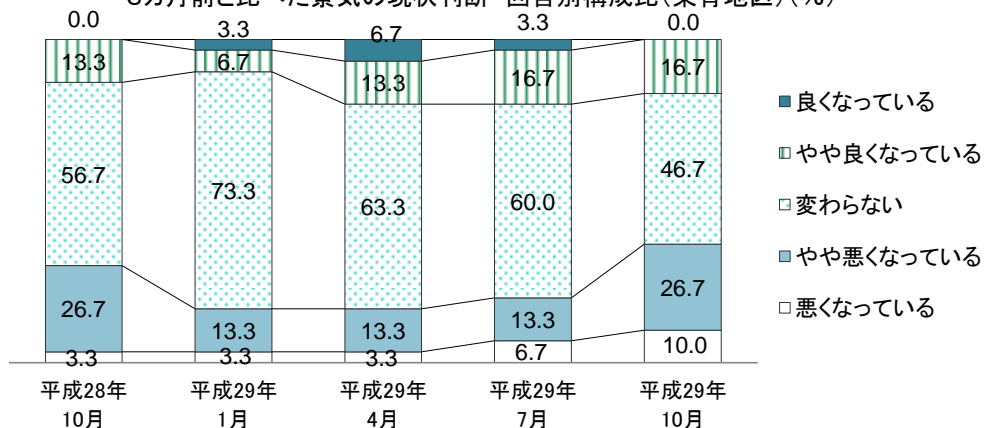
3カ月前と比べた景気の現状判断DI
(東青地区の家計関連の内訳)



②回答別構成比 (%)

	平成28年 10月	平成29年 1月	平成29年 4月	平成29年 7月	平成29年 10月	前期調査 との差
良くなっている	0.0	3.3	6.7	3.3	0.0	▲ 3.3
やや良くなっている	13.3	6.7	13.3	16.7	16.7	0.0
変わらない	56.7	73.3	63.3	60.0	46.7	▲ 13.3
やや悪くなっている	26.7	13.3	13.3	13.3	26.7	13.4
悪くなっている	3.3	3.3	3.3	6.7	10.0	3.3

3カ月前と比べた景気の現状判断 回答別構成比(東青地区)(%)



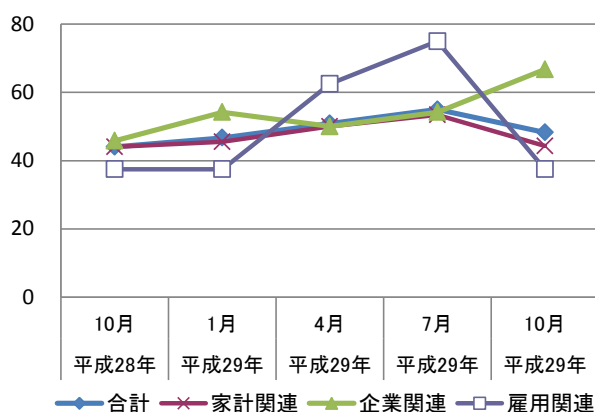
<津軽地区>

①DI

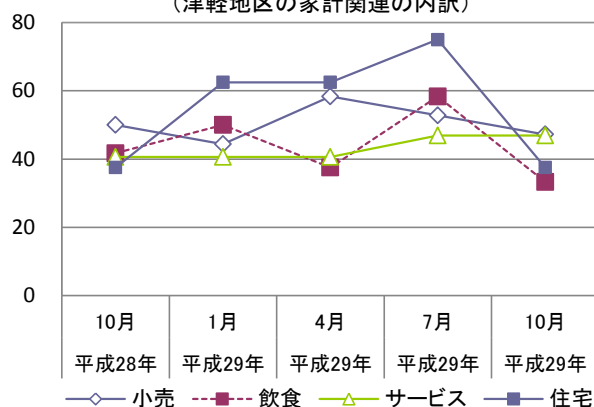
n=30

	平成28年 10月	平成29年 1月	平成29年 4月	平成29年 7月	平成29年 10月	前期調査 との差
合 計	44.0	46.7	50.9	55.0	48.3	▲ 6.7
家計関連	44.0	45.5	50.0	53.4	44.3	▲ 9.1
小売	50.0	44.4	58.3	52.8	47.2	▲ 5.6
飲食	41.7	50.0	37.5	58.3	33.3	▲ 25.0
サービス	40.6	40.6	40.6	46.9	46.9	0.0
住宅	37.5	62.5	62.5	75.0	37.5	▲ 37.5
企業関連	45.8	54.2	50.0	54.2	66.7	12.5
雇用関連	37.5	37.5	62.5	75.0	37.5	▲ 37.5

3か月前と比べた景気の現状判断DI(津軽地区)



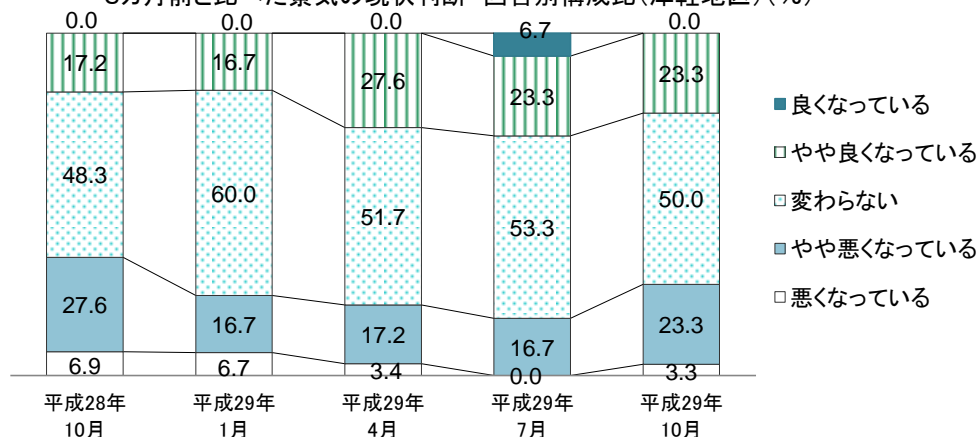
3か月前と比べた景気の現状判断DI
(津軽地区の家計関連の内訳)



②回答別構成比(%)

	平成28年 10月	平成29年 1月	平成29年 4月	平成29年 7月	平成29年 10月	前期調査 との差
良くなっている	0.0	0.0	0.0	6.7	0.0	▲ 6.7
やや良くなっている	17.2	16.7	27.6	23.3	23.3	0.0
変わらない	48.3	60.0	51.7	53.3	50.0	▲ 3.3
やや悪くなっている	27.6	16.7	17.2	16.7	23.3	6.6
悪くなっている	6.9	6.7	3.4	0.0	3.3	3.3

3か月前と比べた景気の現状判断 回答別構成比(津軽地区)(%)



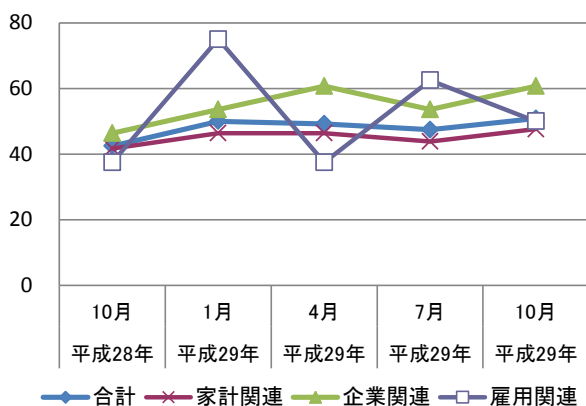
< 県南地区 >

① D I

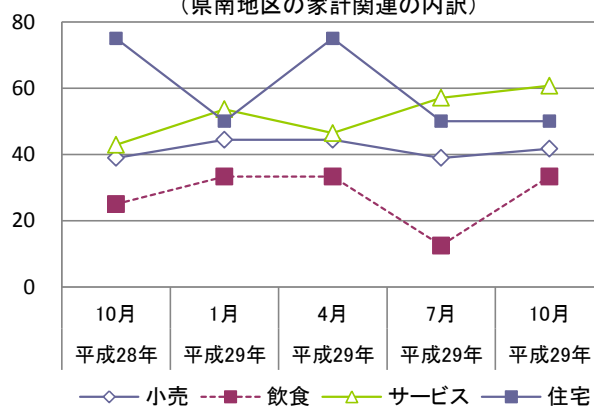
n = 30

	平成28年 10月	平成29年 1月	平成29年 4月	平成29年 7月	平成29年 10月	前期調査 との差
合 計	42.5	50.0	49.2	47.4	50.8	3.4
家計関連	41.7	46.4	46.4	43.8	47.6	3.8
小売	38.9	44.4	44.4	38.9	41.7	2.8
飲食	25.0	33.3	33.3	12.5	33.3	20.8
サービス	42.9	53.6	46.4	57.1	60.7	3.6
住宅	75.0	50.0	75.0	50.0	50.0	0.0
企業関連	46.4	53.6	60.7	53.6	60.7	7.1
雇用関連	37.5	75.0	37.5	62.5	50.0	▲ 12.5

3か月前と比べた景気の現状判断DI(県南地区)



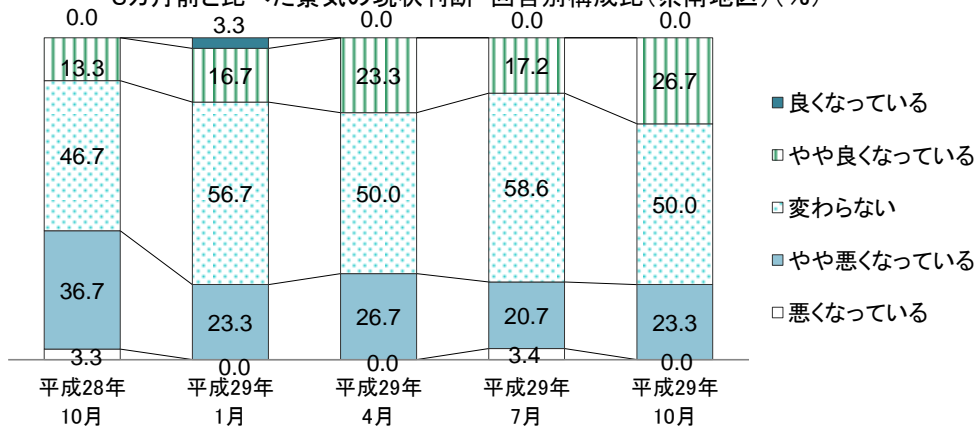
3か月前と比べた景気の現状判断DI
(県南地区の家計関連の内訳)



② 回答別構成比 (%)

	平成28年 10月	平成29年 1月	平成29年 4月	平成29年 7月	平成29年 10月	前期調査 との差
良くなっている	0.0	3.3	0.0	0.0	0.0	0.0
やや良くなっている	13.3	16.7	23.3	17.2	26.7	9.5
変わらない	46.7	56.7	50.0	58.6	50.0	▲ 8.6
やや悪くなっている	36.7	23.3	26.7	20.7	23.3	2.6
悪くなっている	3.3	0.0	0.0	3.4	0.0	▲ 3.4

3か月前と比べた景気の現状判断 回答別構成比(県南地区)(%)



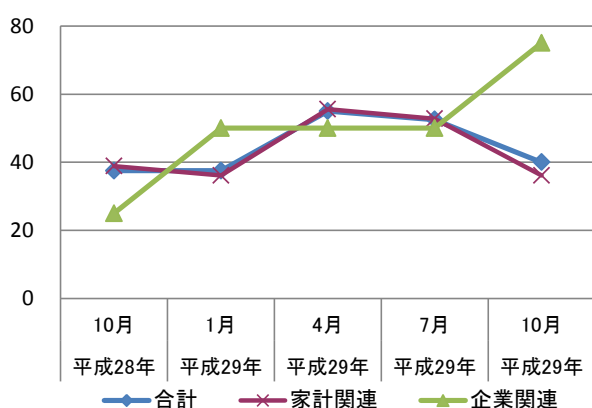
<下北地区> (参考)

①DI

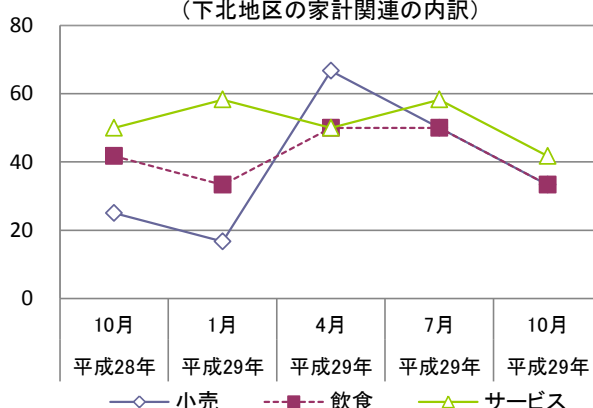
n= 10

	平成28年 10月	平成29年 1月	平成29年 4月	平成29年 7月	平成29年 10月	前期調査 との差
合 計	37.5	37.5	55.0	52.5	40.0	▲ 12.5
家計関連	38.9	36.1	55.6	52.8	36.1	▲ 16.7
小売	25.0	16.7	66.7	50.0	33.3	▲ 16.7
飲食	41.7	33.3	50.0	50.0	33.3	▲ 16.7
サービス	50.0	58.3	50.0	58.3	41.7	▲ 16.6
住宅	-	-	-	-	-	-
企業関連	25.0	50.0	50.0	50.0	75.0	25.0
雇用関連	-	-	-	-	-	-

3カ月前と比べた景気の現状判断DI(下北地区)



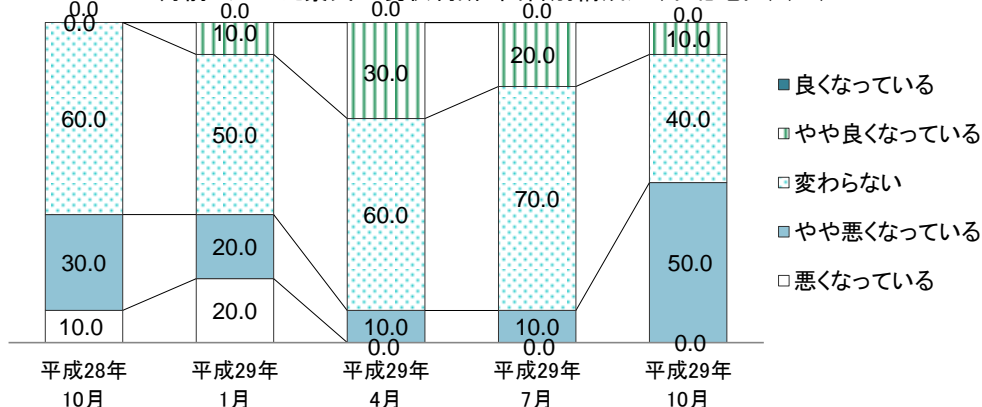
3カ月前と比べた景気の現状判断DI
(下北地区の家計関連の内訳)



②回答別構成比 (%)

	平成28年 10月	平成29年 1月	平成29年 4月	平成29年 7月	平成29年 10月	前期調査 との差
良くなっている	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
やや良くなっている	0.0	10.0	30.0	20.0	10.0	▲ 10.0
変わらない	60.0	50.0	60.0	70.0	40.0	▲ 30.0
やや悪くなっている	30.0	20.0	10.0	10.0	50.0	40.0
悪くなっている	10.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0

3カ月前と比べた景気の現状判断 回答別構成比(下北地区)(%)



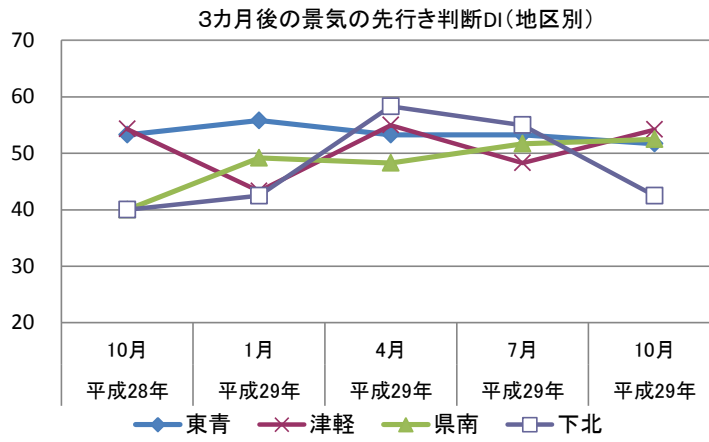
(2) 3カ月後の景気の先行き判断

<地区別>

①DI

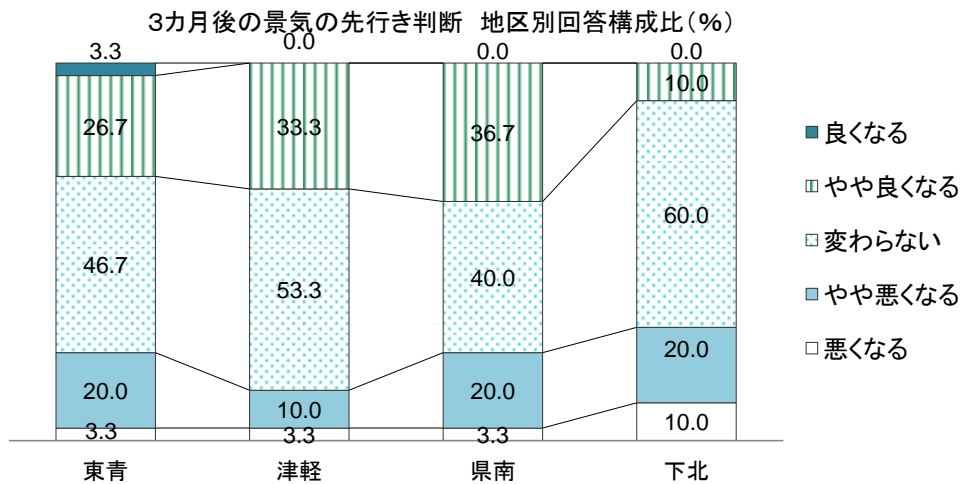
n = 100

	平成28年 10月	平成29年 1月	平成29年 4月	平成29年 7月	平成29年 10月	前期調査 との差
合 計	48.2	48.8	52.8	51.5	51.8	0.3
東青	53.3	55.8	53.3	53.3	51.7	▲ 1.6
津軽	54.3	43.3	55.0	48.3	54.2	5.9
県南	40.0	49.2	48.3	51.7	52.5	0.8
下北	40.0	42.5	58.3	55.0	42.5	▲ 12.5



②地区別回答構成比 (%)

	東青	津軽	県南	下北
良くなる	3.3	0.0	0.0	0.0
やや良くなる	26.7	33.3	36.7	10.0
変わらない	46.7	53.3	40.0	60.0
やや悪くなる	20.0	10.0	20.0	20.0
悪くなる	3.3	3.3	3.3	10.0



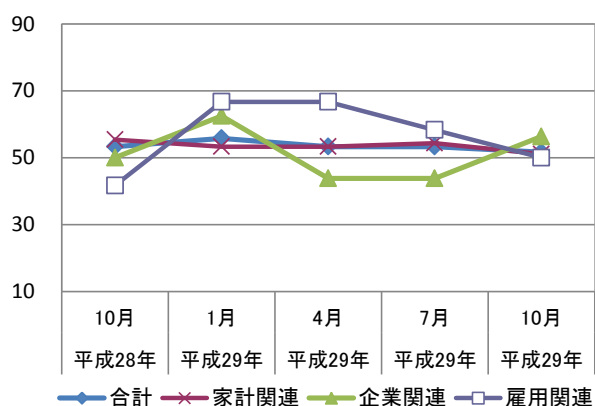
<東青地区>

①DI

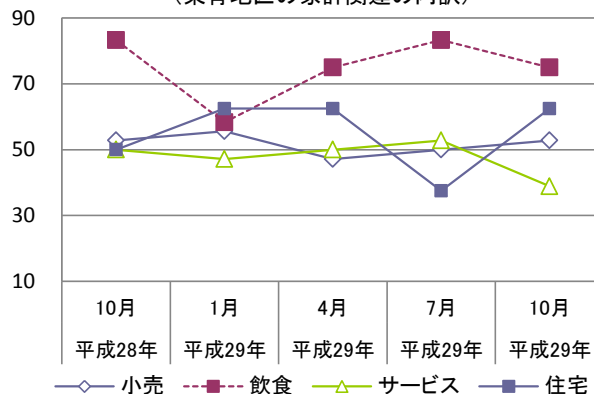
n = 30

	平成28年 10月	平成29年 1月	平成29年 4月	平成29年 7月	平成29年 10月	前期調査 との差
合 計	53.3	55.8	53.3	53.3	51.7	▲ 1.6
家計関連	55.4	53.3	53.3	54.3	51.1	▲ 3.2
小売	52.8	55.6	47.2	50.0	52.8	2.8
飲食	83.3	58.3	75.0	83.3	75.0	▲ 8.3
サービス	50.0	47.2	50.0	52.8	38.9	▲ 13.9
住宅	50.0	62.5	62.5	37.5	62.5	25.0
企業関連	50.0	62.5	43.8	43.8	56.3	12.5
雇用関連	41.7	66.7	66.7	58.3	50.0	▲ 8.3

3カ月後の景気の先行き判断DI(東青地区)



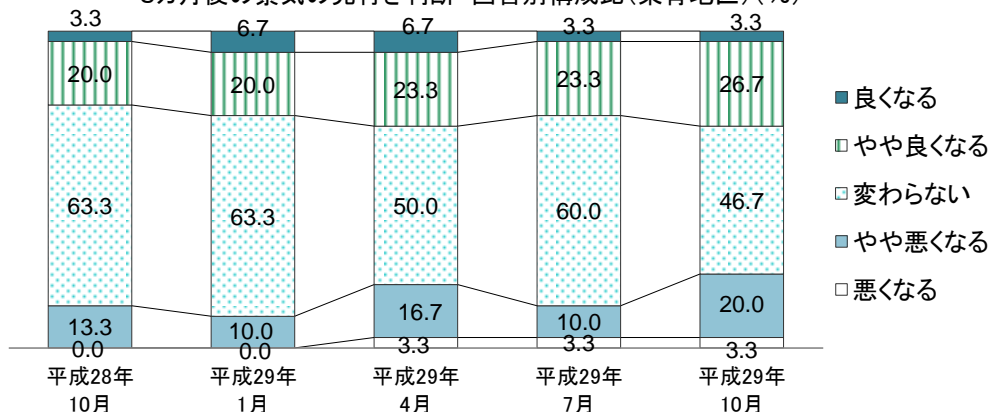
3カ月後の景気の先行き判断DI
(東青地区の家計関連の内訳)



②回答別構成比(%)

	平成28年 10月	平成29年 1月	平成29年 4月	平成29年 7月	平成29年 10月	前期調査 との差
良くなる	3.3	6.7	6.7	3.3	3.3	0.0
やや良くなる	20.0	20.0	23.3	23.3	26.7	3.4
変わらない	63.3	63.3	50.0	60.0	46.7	▲ 13.3
やや悪くなる	13.3	10.0	16.7	10.0	20.0	10.0
悪くなる	0.0	0.0	3.3	3.3	3.3	0.0

3カ月後の景気の先行き判断 回答別構成比(東青地区)(%)



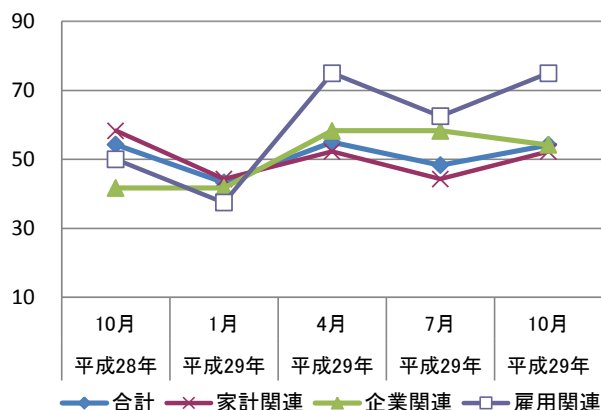
< 津軽地区 >

① D I

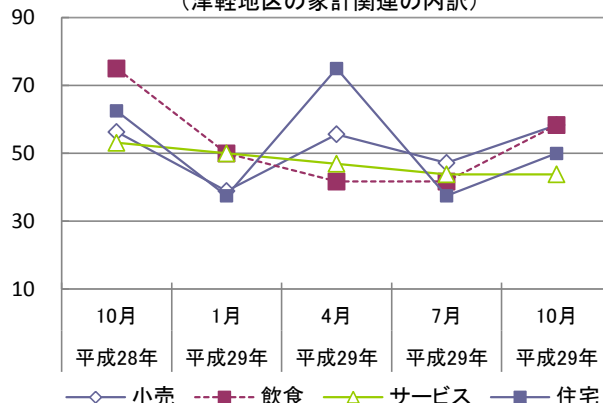
n = 30

	平成28年 10月	平成29年 1月	平成29年 4月	平成29年 7月	平成29年 10月	前期調査 との差
合 計	54.3	43.3	55.0	48.3	54.2	5.9
家計関連	58.3	44.3	52.3	44.3	52.3	8.0
小売	56.3	38.9	55.6	47.2	58.3	11.1
飲食	75.0	50.0	41.7	41.7	58.3	16.6
サービス	53.1	50.0	46.9	43.8	43.8	0.0
住宅	62.5	37.5	75.0	37.5	50.0	12.5
企業関連	41.7	41.7	58.3	58.3	54.2	▲ 4.1
雇用関連	50.0	37.5	75.0	62.5	75.0	12.5

3カ月後の景気の先行き判断DI(津軽地区)



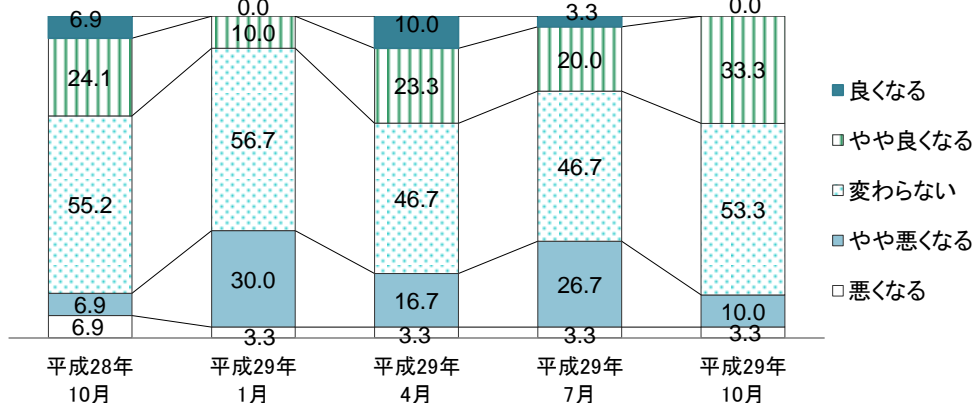
3カ月後の景気の先行き判断DI
(津軽地区の家計関連の内訳)



②回答別構成比 (%)

	平成28年 10月	平成29年 1月	平成29年 4月	平成29年 7月	平成29年 10月	前期調査 との差
良くなる	6.9	0.0	10.0	3.3	0.0	▲ 3.3
やや良くなる	24.1	10.0	23.3	20.0	33.3	13.3
変わらない	55.2	56.7	46.7	46.7	53.3	6.6
やや悪くなる	6.9	30.0	16.7	26.7	10.0	▲ 16.7
悪くなる	6.9	3.3	3.3	3.3	3.3	0.0

3カ月後の景気の先行き判断 回答別構成比(津軽地区)(%)



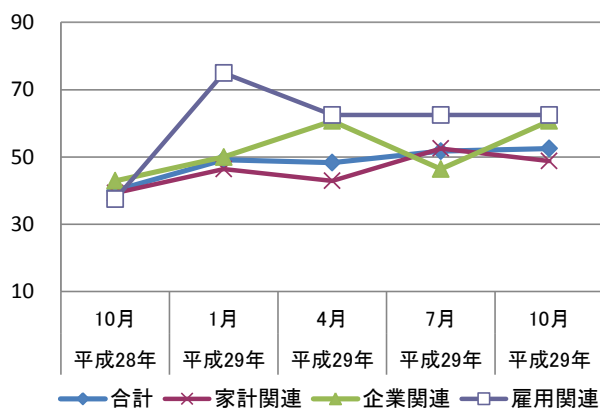
< 県南地区 >

①DI

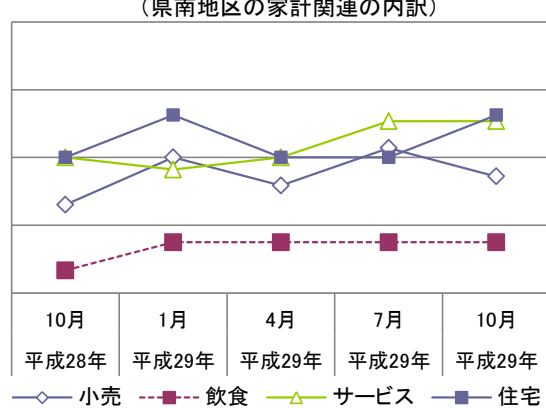
n = 30

	平成28年 10月	平成29年 1月	平成29年 4月	平成29年 7月	平成29年 10月	前期調査 との差
合 計	40.0	49.2	48.3	51.7	52.5	0.8
家計関連	39.3	46.4	42.9	52.5	48.8	▲ 3.7
小売	36.1	50.0	41.7	52.8	44.4	▲ 8.4
飲食	16.7	25.0	25.0	25.0	25.0	0.0
サービス	50.0	46.4	50.0	60.7	60.7	0.0
住宅	50.0	62.5	50.0	50.0	62.5	12.5
企業関連	42.9	50.0	60.7	46.4	60.7	14.3
雇用関連	37.5	75.0	62.5	62.5	62.5	0.0

3カ月後の景気の先行き判断DI(県南地区)



3カ月後の景気の先行き判断DI
(県南地区の家計関連の内訳)

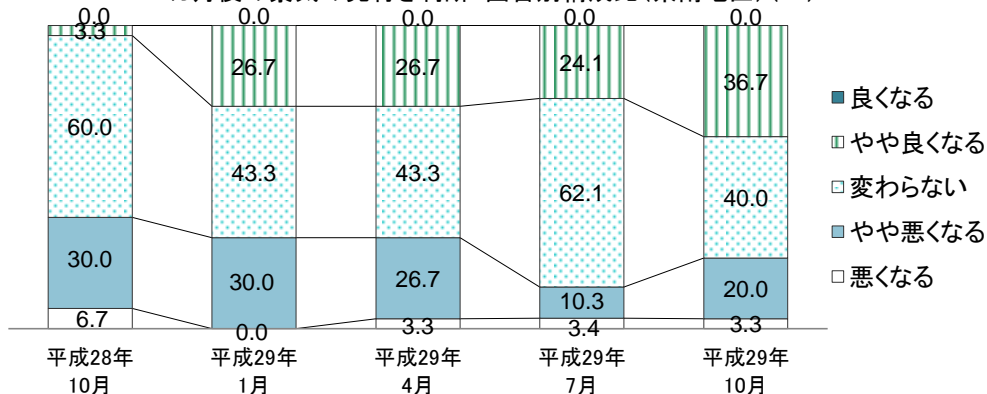


②回答別構成比 (%)

	平成28年 10月	平成29年 1月	平成29年 4月	平成29年 7月	平成29年 10月	前期調査 との差
良くなる	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
やや良くなる	3.3	26.7	26.7	24.1	36.7	12.6
変わらない	60.0	43.3	43.3	62.1	40.0	▲ 22.1
やや悪くなる	30.0	30.0	26.7	10.3	20.0	9.7
悪くなる	6.7	0.0	3.3	3.4	3.3	▲ 0.1

3カ月後の景気の先行き判断 回答別構成比(県南地区)(%)

平成29年4月

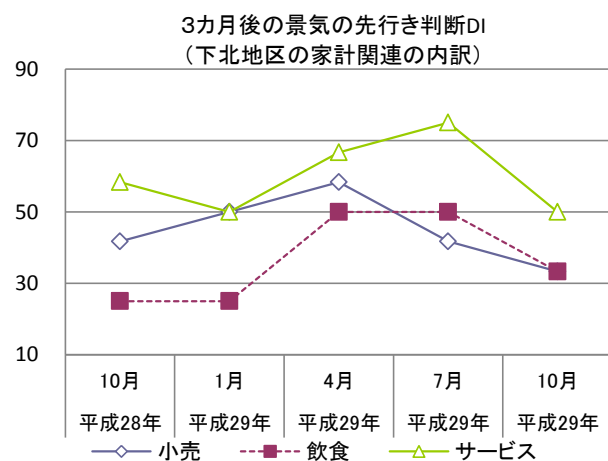
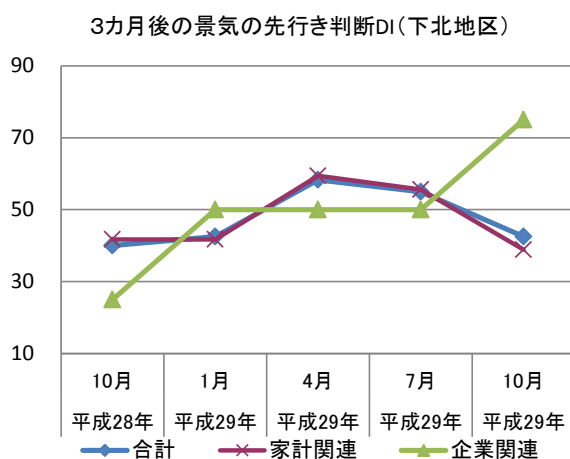


<下北地区> (参考)

①DI

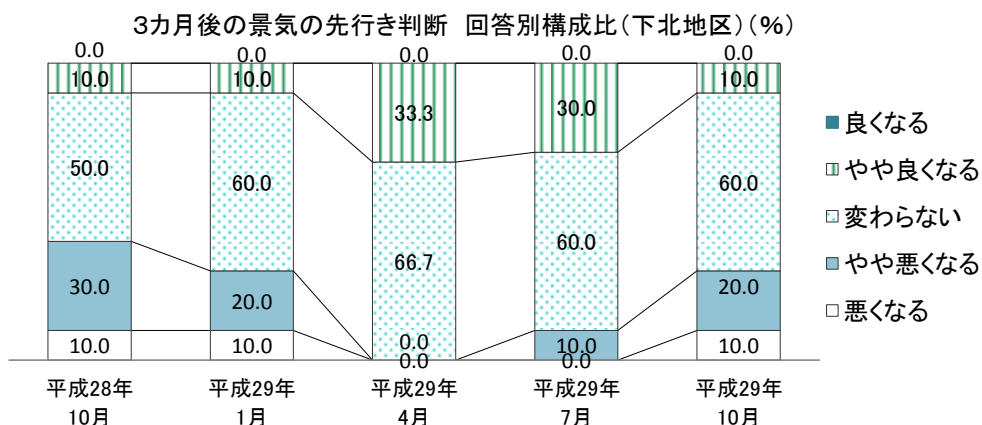
n = 10

	平成28年 10月	平成29年 1月	平成29年 4月	平成29年 7月	平成29年 10月	前期調査 との差
合 計	40.0	42.5	58.3	55.0	42.5	▲ 12.5
家計関連	41.7	41.7	59.4	55.6	38.9	▲ 16.7
小売	41.7	50.0	58.3	41.7	33.3	▲ 8.4
飲食	25.0	25.0	50.0	50.0	33.3	▲ 16.7
サービス	58.3	50.0	66.7	75.0	50.0	▲ 25.0
住宅	-	-	-	-	-	-
企業関連	25.0	50.0	50.0	50.0	75.0	25.0
雇用関連	-	-	-	-	-	-



②回答別構成比 (%)

	平成28年 10月	平成29年 1月	平成29年 4月	平成29年 7月	平成29年 10月	前期調査 との差
良くなる	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
やや良くなる	10.0	10.0	33.3	30.0	10.0	▲ 20.0
変わらない	50.0	60.0	66.7	60.0	60.0	0.0
やや悪くなる	30.0	20.0	0.0	10.0	20.0	10.0
悪くなる	10.0	10.0	0.0	0.0	10.0	10.0



4. 判断理由

景気の現状判断理由

現状	分野	地区	業種	理由	
やや良くなっている	家計	東青	百貨店	婦人衣料を中心に衣料品での回復傾向が見れる。	
			住宅建設販売	昨年3ヵ月と比較し受注が増加したため。	
			一般飲食店	特に景気が悪くなるようなものが周りを見わたしても見あたらない	
			衣料専門店	アウガに市役所窓口移転を起点にした動向が中心街区の雰囲気を押上げている。ワクワク感は周辺でも。	
		津軽	一般小売店	4～6月が前年割れでしたが7～9月は一桁だが上昇に転じたので	
			衣料専門店	一般的景気が上回っている風潮 農作物良好	
		県南	美容院	9月短観や就職が売り手市場になりつつあるので、少しずつでも気持ちが楽になって購買が伸びると思う。店販も少しずつ伸びています。	
			一般小売店	新築・リフォームともに業者が忙しそうだ。	
			パチンコ	客入り数が増えてはいないが、最低時の底上げが見える。	
			タクシー	8月のお盆・お祭りは忙しかった。その後も仕事が途切れず人の動きがいい感じがする。	
		企業	東青	建設	業界？（管内）全体ではそれなりの仕事量があるように感じます。（当社は今期はダメですが…）
				津軽	電気機械製造
	津軽		食料品製造	多少上向きになっているように感じる	
			経営コンサルタント	農作物も順調で、消費も良好と感じる。	
			飲料品製造	海外からの観光客の増加	
			県南	電気機械製造	鉄道や飛行機、ホテルが予約取りづらい。実際乗ってみても乗客多い。近隣の取引先はほとんどが「忙しい」と話している。
	広告・デザイン			特別に景気が良いということではなく、季節的に年末に向かうため必然的に仕事は増えていくということです。	
	飲料品製造			季節商材の商品の動きが多少感じられ、今後についても受注の反応が良い感じがする。	
	下北	食料品製造	収益は横ばいだが売上数字は伸びている。		
	変わらない	家計	東青	旅行代理店	来店客数は変わらない。
都市型ホテル				悪天候もあり仕入れ価格が一時上昇したが、現在はおちついており、総合的には前年並みであった。	
設計事務所				大きな社会変動もなく、手持ちの仕事で順調に推移したように見受けられる。	
商店街				8月のねぶた祭りの人出が好調でしたが、その後は芳しくなく、低迷しているのではないのでしょうか。	
観光名所等				4～9月の月別の入場者数は前年比増加が3ヵ月、同減少が3ヵ月となっている。	
パチンコ				今年に入り、業績は上向いてきましたが、春先から現状維持です。	
ガソリンスタンド				レンタカー業界では外国人旅行者の利用が大幅に増えたようだが、日本人の利用は横ばいで推移しているようだ。	

現状	分野	地区	業種	理由
	津軽	津軽	旅行代理店	地元の経済が停滞している感がある。
			百貨店	小売業における低迷に変化なし。購買意欲のある人口の減少の継続
			都市型ホテル	受注状況等に変化がないため
			乗用車販売	所得は完全に回復しておらず、消費は停滞している。
			住宅建設販売	社内データから読み取っても、ここ2.3年はあまり変化がない。しかし、売上・利益とも維持するためには力がかなり必要となった。
			観光名所等	外客は多く来弘しているが国内は変わらない
			観光型ホテル・旅館	北海道新幹線アフターDCが9月で終了したが、その効果が持続して前年対比売り上げが伸びている状況である。
		県南	旅行代理店	賃上げが発生してきた。
			百貨店	秋物商品の一部に動きはあったものの天候不順・不漁による生鮮食品の高騰や食品・サービス料金の値上げ等の影響のためか価格に敏感になっていると感じられるため。
			設計事務所	皆様忙しい感じがしているが、大型物件が少ない。
			観光名所等	客入数・売上共減少が続いているため。
			観光型ホテル・旅館	良くなる傾向もありつつ、北朝鮮情勢の問題もあり、先が読みづらい。現状を見ると、館内消費額は上昇しているので、情勢安定すれば上向きにいくだろう。
			卸売業	目立って金使いが良い方もいないし景気が良くなっていると感ぜないが、趣味・DIYとかに家族・カップルで出掛ける姿をよく目にする。生活を少ない予算で楽しむようになったのでしょうか（マスコミの影響?）
	下北	スナック	八戸は夏から巻き網船などが入ってくる為、町はにぎやかになりますが、その他地元の企業にかわりはないと思います。	
		スーパー	シビアな買い物動向が続いているが大きな変化がみられない為	
		コンビニ	天候不順の為、思うようにならない。	
		ガソリンスタンド	有効求人倍率の上昇、賃金の上昇も報道されるが、社会保険料の上昇などにより実質可処分所得は増加が感じられず、個人消費の増加に結びついていない。	
		都市型ホテル	売上はほぼ前年並で推移しており、特に景気回復につながる様な好材料もない。	
		一般小売店	特別変わった様子は無いのですが、必要なものしか買わない、安い時に買うという感じです。財布のひもは固いですね。	
	企業	東青	ガソリンスタンド	お盆の帰省や祭りの観光客も例年に比べそんなに増えた感じもなく、逆に悪天候で人の動きが悪かったような気がします。
			食料品製造	購入意欲はあるようですが、このところ経費がかかってくる事が増えており、すぐに注文に結びつかない。
			広告・デザイン	変化をもたらすような材料が無い。
		津軽	経営コンサルタント	小売の一部にやや良好な先も見られたが、人手不足が建設業中心に見られ、また、水産加工で原料不足が見られるところから全般には変わらないと見られる。
広告・デザイン			売上額が特によくなっているわけでもなく、変動していない。	
県南			建設	夏の祭り事やイベントなどでは、それなりの消費効果があったと思われるが、日々の生活では皆節約志向が表面化している。
		経営コンサルタント	クライアントの数値を見ていると7月までは堅調な利益を上げていたが8月は利益の伸びがぱったりと止まった。冷夏の影響で個人消費が伸び悩んだのではなかろうか。	

現状	分野	地区	業種	理由
やや悪くなっている	雇用	東青	新聞社求人広告	大きな変動がない。
		県南	新聞社求人広告	上向く材料も気配もないため。
	家計	東青	美容院	単価が徐々に低下している。
			競輪場	売上が下がっている。入場人数も減少している。
			観光型ホテル・旅館	国内旅行者減少を実感している。外国人客増加と比べても減少幅が大きい。
			家電量販店	実感がない
			卸売業	酒類の価格があがり消費者が買いしぶりしているようだ
			レストラン	9.10月は連休もあり、人の流れがどうしてもそちらの方に向いてしまう。
			スーパー	人口の減少、高齢化が徐々に進んでいる為、客単価は前年並みであるが、客数が落ちている事で売上高は前年割れとなっている。
	津軽	設計事務所	時期的な要素もあるが、冬が近くなると建築設計の依頼も減少します。例年であれば2月頃からUPする傾向にあります。	
		商店街	大きいイベント等が終わり、現在は来街者や買物客数が落ち着いてきた。	
		一般飲食店	8・9月の冷夏の影響	
		スナック	農繁期の為。	
		スーパー	売上が上がってきてない事	
		コンビニ	同業者が増している為	
	県南	商店街	急に気温が下がってきたのと油関係が値上がり傾向だから	
		家電量販店	客数の前年割れが続いている。	
		一般飲食店	気候の変化等に振り回されている感もあるし、人出が低下している。要因とすれば政局の不安定もある。	
		衣料専門店	入店客数、買上げ数の減少	
		レストラン	地元のお客様の来店回数が減ってきている。	
	下北	一般飲食店	食堂での仕事なのですが（夜9時まで）人が歩いていない。	
スーパー		売上・客数ともわずかながら落ち込んでいる。		
コンビニ		人口減少が止まらない。若い人が中央にいて戻らない。		
企業	県南	食料品製造	食品業界の中では材料比率の高い業界で、主力原材料の不足と価格の高止まりが継続しているから。	
雇用	津軽	新聞社求人広告	端境期であり、夏祭り以降消費が抑えられている感がある。	
悪くなっている	家計	東青	乗用車販売	販売不振
			タクシー	平日はもちろんのこと、金曜日・土曜日の夜の動きが非常に悪く、街を歩く人影もまばら。これから先、何か起きた時の為に出来る限りお金を遣わないようにしている様に感じる。
			スナック	3ヶ月で知り合いの4店舗が閉店、私たち飲食業は何故これほど悪いのでしょうか。やはり不景気の挙句、又選挙で踏んだり蹴ったりです。悲しく寂しいです。それなりに営業はしていますが、まあ12月に向けて頑張るしかありません。
	津軽	ガソリンスタンド	地元の同業者がまた1社なくなった。	

(2) 景気の先行き判断理由

先行き	分野	地区	業種	理由
良くなる	家計	東青	一般飲食店	新町にいろいろな施設などができているし人も少しずつあつまっていきと思う。
やや良くなる	家計	東青	衣料専門店	質問3の回答でも述べたとおり、1月にアウガに移転する市役所窓口移転を起点に会議所、東奥日報新町ビル（仮称）、青森駅改築など明るい話題が多いことからです。
			住宅建設販売	消費増税のために前倒しする顧客の動きが出始めるため。
			百貨店	市役所機能の移転等中心市街地に好影響をもたらす期待感がある。
			レストラン	年末にかけて忙しくなるのでは。
			卸売業	何ごとも「なれ」が出ると思うので！
	津軽	商店街	これから紅葉の季節となり、弘前城を含む中南地域にやってくる来街者が増えてくる。	
		スナック	年末年始で飲む機会が増えると思うから	
		衣料専門店	リンゴ良好	
		卸売業	秋から冬にかけて繁忙期のため	
		一般小売店	上向いてきたので	
	県南	美容院	選挙が終了して各党の公約が実行され、結果が出てくることを望んでいる。冬期準備の需要が増えることを期待している。	
		住宅建設販売	消費税増税の話が出てくればそれまで景気は上向いていく。	
		一般小売店	東京オリンピックをピークにして、家電では既に4K→有機ELTVに軸を移し、単価アップしてきている。	
		卸売業	CMを見ても、オリンピック関連の勢いを感じるので当面は良くなると思う。	
		タクシー	極端には変化はないと思う。けれども、このころは外人の観光客も多くなったように思う。	
	企業	東青	広告・デザイン	市役所の移転がもたらす人・モノの活性化に期待。
			津軽	食料品製造
		県南	飲料品製造	紅葉シーズンでもありますので良くなると思う
			飲料品製造	あいかわらず、盛り上がり欠ける感はあるが、需要期に向けての確実な動きが感じられる。
食料品製造			新たな主原料の切り替え・更新時期と繁忙期を迎えるため。	
下北		経営コンサルタント	有効求人倍率が上がり、初任給の上昇に見られるように、個人の給料も上昇基調にある。個人の所得が上がれば、必ず、消費は回復すると期待する。	
		食料品製造	10月から最低賃金が22円アップし消費につながると思うから。	
雇用	津軽	新聞社求人広告	出来秋、秋の行楽、そして年末年始へと消費が上向くと思われる。	

先行き	分野	地区	業種	理由
変わらない	家計	東青	スナック	全く解りません。変わらないとは良くならないのでは。でも期待してます。
			都市型ホテル	予約状況は例年と変わらないが、人手不足が深刻になりつつあり、サービス等の低下が懸念される。
			設計事務所	この先、急激な好転、又は極端な低調に落ち込む要因はなさそうです。
			乗用車販売	回復する傾向が見られない
			商店街	アウガ閉店の影響もあり、イメージダウンも重なり、歩行者の通行量も低調。
	津軽		乗用車販売	変化する要素なし
			設計事務所	2年前は消費税UPを懸念して非住宅の設計依頼が相当数あったが、その後はほぼ例年並みに推移しています。
			住宅建設販売	我々業界は本来であれば春先が多忙であるべきだが、最近11月・12月が比較的忙しい。
			百貨店	商環境の改善予測は厳しさが感じられる
			旅行代理店	特段の景気に対しての起爆剤がない。
			都市型ホテル	目新しい政策がない事と、国際情勢が見通せないため。
			観光名所等	選挙の結果しだい
			コンビニ	冬になるまでは変化はほとんどなし。前年同様
	県南		衣料専門店	一般消費者の賃金体系に変化（上昇）がみられそうにないため
			設計事務所	選挙も終わると消費が動くことが考えられる。
			コンビニ	設備投資等あるようですが、お客様の様子からは何も感じない。
			百貨店	消費の二極分化傾向が続きモノからコトへ移行していく中で、高額品や衣料品の動きは鈍く、全般的に消費は盛り上がりには欠け、回復している実感がないため。
			観光型ホテル・旅館	良くなる傾向もありつつ、北朝鮮情勢の問題もあり、先が読みづらい。現状を見ると、館内消費額は上昇しているので、情勢安定すれば上向きにいくだろう。
			観光名所等	特に良い変化がおきる状態でないため
			ガソリンスタンド	目先、景気を大きく変動させる要因は見当たらず
			スナック	八戸は夏から巻き網船などが入ってくる為、町はにぎやかになりますが、その他地元の企業にかわりはないと思います。
	下北		都市型ホテル	これから観光もオフシーズンになり、年末年始の宴会予約の動きも大きな変化はない。
			レストラン	消費税などで多少変動はあるかもしれない。
			ガソリンスタンド	明るい兆しもなければ悪くなるような感じもしない。
一般飲食店			回りの話を聞くことには、給料が下がってるしその割には出費が多いと結構嘆いています。	
スーパー			大きな行事や変化が少ないため。選挙では経済効果はない。	

先行き	分野	地区	業種	理由
	企業	津軽	経営コンサル タレント	景気は安定していると感じています。
			広告・デザ イン	工事物件に対する見積もり依頼数等が特に増減なく現状のまま 変わらないと思われる。
			電気機械製 造	現状がピークなため、徐々に落ちてくる。
			広告・デザ イン	時期的に仕事は増えるのでそういう意味で変わらない。(例年 通りということ)
	雇用	東青	新聞社求人 広告	好材料が見当たらない。
雇用	県南	新聞社求人 広告	上向く材料も心配もないため。	
やや悪くなる	家計	東青	家電量販店	良くなる根拠がない
			観光名所等	徐々に閑散期を迎えていくものです。
			スーパー	人口減少に対してドラッグストア・コンビニエンスストアが増 えている為、売上を伸ばす商材が少ない。
			美容院	来店サイクルも少しずつ低下している。
		津軽	スーパー	税金も上がる予定になっている事で、金回りが悪くなってい る。
			観光型ホテ ル・旅館	11月末から忘年会シーズンに入るが、最近は近くの居酒屋でや る傾向になってきているので、以前に比べると減少している。
		県南	商店街	油関係は今後も上がりそうに加え、選挙が行われるから。
			家電量販店	客数UP、商品の単価UPが望めない。
			スーパー	消費の分散化と節約志向は今後も続く
			一般飲食店	現在の流れだと良くなると考えられない。選挙もあるし、経済 の見通しも決して明るくない。
		下北	コンビニ	寒い時期になって、外に出たがらない。
			一般小売店	忘れかけていた消費税10%増税が言及されたことにより、また 生活防衛に向かい、財布のヒモが締まりそうな気がします。
	企業	東青	食料品製造	送料等が値上がりし、企業努力では足りず値上がりが増えてき ているので、工夫しなければ苦しくなるので。
県南		建設	農業県の青森では、今夏は冷害に見舞われ、にんにく農家以外 の農家は所得減が見込まれる。それに連動して、消費は落ち込 んでいくと思われる。	
悪くなる	家計	東青	タクシー	原油価格が再び上昇していることに加え、これからは暖房用の 燃料費が家計を圧迫する時期に入るので。
		津軽	ガソリンス タンド	人手不足、人口減少、町の空洞化
		県南	レストラン	若いお客様がアルコールを飲まなくなってきた。居酒屋に ファミリーレストラン感覚で来店されるお客様が増えている傾 向が見られる。

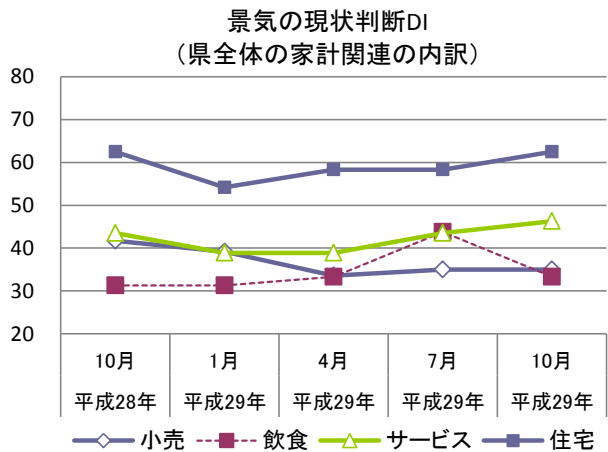
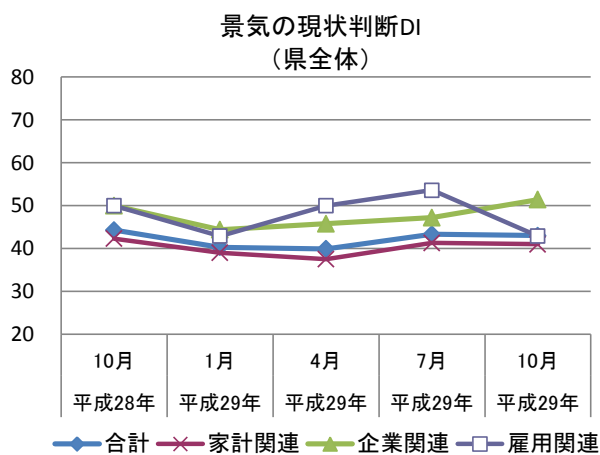
5. 参考

(参考1) 景気の現状判断

①DI

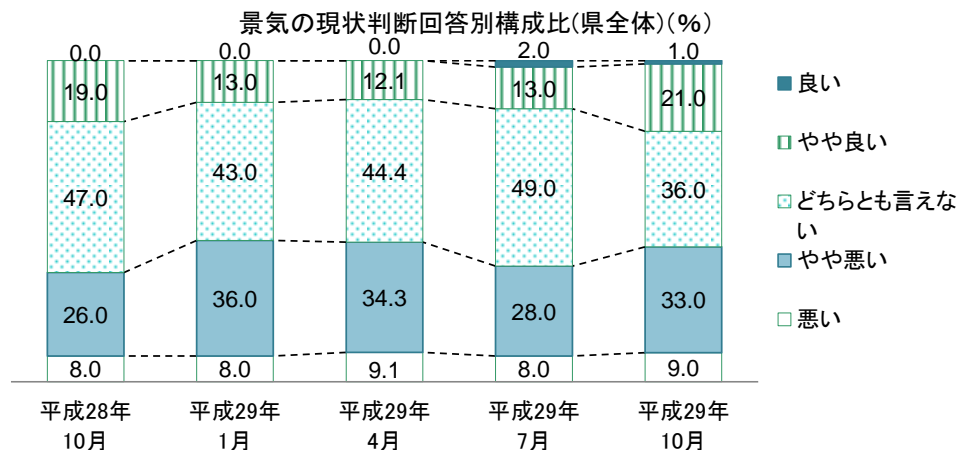
n = 100

	平成28年 10月	平成29年 1月	平成29年 4月	平成29年 7月	平成29年 10月	前期調査 との差
合 計	44.3	40.3	39.9	43.3	43.0	▲ 0.3
家計関連	42.3	39.0	37.5	41.3	41.0	▲ 0.3
小売	41.7	39.2	33.6	35.0	35.0	0.0
飲食	31.3	31.3	33.3	43.8	33.3	▲ 10.5
サービス	43.5	38.9	38.9	43.5	46.3	2.8
住宅	62.5	54.2	58.3	58.3	62.5	4.2
企業関連	50.0	44.4	45.8	47.2	51.4	4.2
雇用関連	50.0	42.9	50.0	53.6	42.9	▲ 10.7



②回答別構成比 (%)

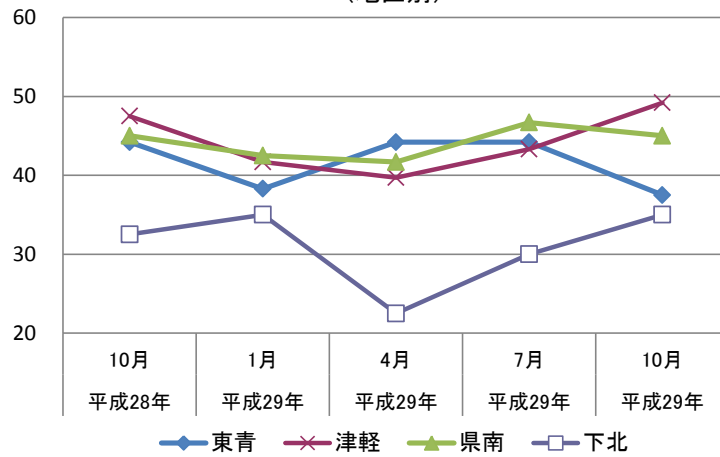
	平成28年 10月	平成29年 1月	平成29年 4月	平成29年 7月	平成29年 10月	前期調査 との差
良い	0.0	0.0	0.0	2.0	1.0	▲ 1.0
やや良い	19.0	13.0	12.1	13.0	21.0	8.0
どちらとも言えない	47.0	43.0	44.4	49.0	36.0	▲ 13.0
やや悪い	26.0	36.0	34.3	28.0	33.0	5.0
悪い	8.0	8.0	9.1	8.0	9.0	1.0



③地区別DI

	平成28年 10月	平成29年 1月	平成29年 4月	平成29年 7月	平成29年 10月	前期調査 との差
合 計	44.3	40.3	39.9	43.3	43.0	▲ 0.3
東青	44.2	38.3	44.2	44.2	37.5	▲ 6.7
津軽	47.5	41.7	39.7	43.3	49.2	5.9
県南	45.0	42.5	41.7	46.7	45.0	▲ 1.7
下北	32.5	35.0	22.5	30.0	35.0	5.0

景気の現状判断DI
(地区別)



(参考2) その他自由意見

分野	地区	業種	自由意見
家計	東青	衣料専門店	くどいようですがアウガ市役所窓口移転であらゆる事が好転しているように感じ期待しています。明るい兆しです。今までの鬱憤がはじけます。
		一般飲食店	選挙があるが、ちょっとどう変化するか心配ですね。地方とはいえいろいろつながっているので良いほうに変化するならして欲しいものです
		レストラン	毎年のことだが、9月10月は連休が多いからなのか、街の中に人が少なくなってしまう。週末は催し物が多くなるので…。
		観光名所等	4～9月の外国人入場者数（団体のみ）は前年比105.4%。
		美容院	明るい話題が少ないように思っている方が多く、希望が持てない方々がいる現実がある。
		住宅建設販売	土地購入からの新築計画の顧客への土地物件が少なく、エリアによっては全くない状況で、かたよってきている。
	津軽	一般小売店	外国人観光客が増えているように見受けられる。隣の商店街にあったショッピング施設が閉館して、エコノミーホテルに変身し、1階にフードコートを作るという話である。
		商店街	弘前の市役所や商工会議所による「インバウンド対策」の効果が見えてきた。しかし、職種によってはほとんど効果のない店もあるのが問題点である。今後はさらなる「インバウンド対策」を市役所・商工会議所と協議しながら考えていきたい。
		スナック	衆議院選挙があり、選挙時期は暇になる。
		観光型ホテル・旅館	居酒屋で「忘年会」→二次会→三次会、タクシー代等合算すれば旅館・ホテルの方が安い場合があるので、この点をアピールして利用者を増やしたいと考えている。
		観光名所等	北朝鮮の動向
		旅行代理店	弘前地区は、りんご産業の景気に左右されると思う。今年りんごの価格によって若干の景気の変動はあると思う。
		ガソリンスタンド	求人の募集もハローワークよりネット募集に変わってきた。求人もメールの時代？
		設計事務所	選挙モードの真っ最中な状態ですが、どこが政権政党になるかによって変わるのでしょうか。少子化や子育て問題にもっともっとテコ入れしないとダメだと思います。よって、若い人が働きやすい環境を作る事によって景気も上がるのでは。
		住宅建設販売	人手不足を感じている。特に職人さんが足りないようである。
	県南	スーパー	コンビニ・ドラッグストアの出店で利便性が増し、食事の素材、材料の購入が少量化傾向になってきている面がみられる。
		卸売業	大型ショッピングセンターに行ったとき、おしゃれなパン屋さんができたのはうれしいけれど、ここは確か地元の店が入っていたような…淋しい気持ちになりました。パン工場も倒産したし、量をさばく為の取引になって地元の業者が無くなるのは、何とかならないのでしょうか。
		一般飲食店	行政はもう少し庶民にメリットある政策、例えば保育園の無料化とか…。
		スナック	空きビルが増えているのが町をさみしく見せています。「飾る」演出など、県でも考えて頂けたらうれしいです。
		旅行代理店	人手不足
		美容院	全国各地で村おこし町おこし、街の活性化という事で活動が目につくようになりました。身近にあれば協力したいと感じます。
ガソリンスタンド		人口減少、若年層の流出等により地方にとっては益々企業活動が厳しくなる中、政官財一体となった地方創生のあり方が必要。（掛け声だけではなく）	
設計事務所	官公庁には、県内物件は県内の事業所に発注していただきたい。		
下北	コンビニ	アルバイトの人が足りない。それでも年2.3件むつにコンビニが開店している。	
	スーパー	人手不足で思った通りの結果が出ない。	
	一般飲食店	8月にこちらとしては大きな祭りがあったんですが、例年よりも人が少なく感じたので、売上とかも思わしくなかったようです。	

分野	地区	業種	自由意見
企業	東青	建設	政策は大切、国のあり方について未来像を示していくことで景気は上向く。国民（県民）として真剣に学び、考えなくてはと思います。
	津軽	食料品製造	売地もいつの間にか家が建ったり、売れてきているように思う
		飲料品製造	観光スポットをもっと海外・国内の人々にアピールすればどうか。
		建設	この間の台風による被害が大きくなって本当によかった。本県を直撃するコースだったので大変心配した。衆議院が急に解散し、政界再編などで先行き不透明だ。一つ一つ仕事をやらねばと思う。
		広告・デザイン	会合の為小樽へ出張しましたが、昨年に比べ観光客の方々が少ないように感じました。全国的にそうなのか、それとも地域により客数に差が生じているのか？
	県南	電気機械製造	いまだに新しい箱モノや道路を作っているが大丈夫か？人口は減っているし、収入もさほど増えない中、インフラにお金をかけすぎると地域が行き詰まる。リニューアルや改良に重きをおき、一部は廃止するくらいの未来へ向けた変革を行っていただきたいし、我々もそうあるべきだと考える。
		建設	どの業種も採用難に苦しんでいる。大企業の魅力を前面に押し出して大手企業が地元学生を漁り、地方が益々疲弊してきている。
		経営コンサルタント	クライアントの中には、後継者がなくて廃業（解散・譲渡）する先がちらほら出てきた。ここ6ヵ月で3件。経営者は60代～70代。業種は自動車整備業2件。
	下北	食料品製造	前記のとおり消費は増えると思うが、企業収益は縮小してくると思われる。